

○静岡県では、近年、台風の直撃で強風による施設園芸への被害が増加している。中でも平成23年、24年の台風では、簡易な地中埋め込み式**パイプハウスが大破・全壊するケース**が多く見られた。

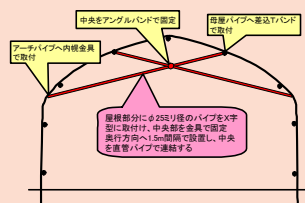
○今後、台風・強風被害を軽減するためには、既存のパイプハウスの**補強技術の確立と普及拡大が喫緊の課題**となっている。

○平成24年度から26年度に、**普及、研究、農業団体、ハウス業者で組織する研究会を設立して強風対策技術の構築と導入を推進**。展示ほの設置、研修会の開催、マニュアルの作成配布等を行なっている。

目標とする成果

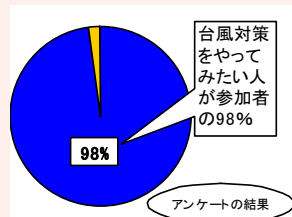
1 強風対策技術の構築

○普及性の高い補強技術の確立 7事例



2 研修会等による啓蒙

○強風対策意識の向上



3 強風対策技術のモデル実証

○平成24～26年度 7ha



目標を達成するための普及活動

平成24年度

- **災害に強い施設園芸をめざす研究会の設立**
- 強風対策研修会の開催(東中西計3回)
- 台風・強風対策マニュアルの作成(6000部)

平成25年度

- 補強技術実証モデル展示ほの設置(3か所)
- **強風対策技術導入マニュアルの作成(5000部)**
- 強風対策先進地調査(沖縄県)

平成26年度

- 強風対策技術の普及啓発(5回)
- **補強技術実証モデル展示ほの設置(3か所)**
- 強風対策先進地調査(香川県・徳島県)



技術導入マニュアルの作成

研究会による実証ほの設置

今回の普及活動の特徴

- ・ 農業革新支援専門員を中心に、普及、研究、JA、業者をコーディネートして研究会を運営。
- ・ **専門家の意見と、ハウス業者のノウハウを生かして、実践的な強風対策技術を構築。**

- ・ 現地での技術実証展示ほの設置業務は、JA指導員、普及指導員等が自ら行なうことにより、施工が容易であることを実証。
- ・ **実証展示ほの設置過程を写真にまとめ、実践的な技術導入マニュアルを作成、印刷配布した。**

関係機関との連携

- ・ 国研究機関の**農村工学研究所の参画を得て、研究成果を元に強風対策技術を導入。**
- ・ ハウス業者と連携して、**低コストで普及が期待できる強風対策技術の実証展示**を行った。

